

千葉市行動計画【2019 年度版】について

1 改訂にあたり（2019 年度取組方針）

東京 2020 大会まで、残り 1 年と迫るなか、幕張メッセ会場を最高に盛り上げ成功に導くため、本市のイベント・事業を積極的にオリパラに関連づけ、全庁一丸で取り組むとともに、市民等の自発的行動を促し、経済界などの関係団体と連携・協力して、オール千葉で取り組んでいくこととします。

2 改訂のポイント

- ・新たな取組を追加するとともに、オリパラとの関連性や実現可能性を踏まえ見直しを行った。
- ・時点修正による修文・加除を行うとともに、類似する取組を集約した。
- ・各取組の所管課を明記した。
- ・指標について、一部現状値を反映した。

3 主な改訂内容

（1）新たに、方向性 4 に「4－5 千葉市の文化を発信」を位置づけ、取組を追加

理由⇒ 東京 2020 大会の文化プログラムに向けた取組が具体化したため、大項目への位置づけを行った。

○市の魅力ある文化力を活かした文化プログラムの実施（行動計画※見え消し版 P91）

千葉市の自然の中で生まれ育まれてきた文化と、技術の進展によって生まれた新しい文化を活用した芸術祭の開催に向けて、準備等を進めます。

○ジャポニスムと浮世絵展の開催【新規】（行動計画※見え消し版 P91）

2020 年 7 月の千葉市美術館のリニューアルオープンにあわせて開催する、訪日外国人も視野に入れた大規模な浮世絵展に向けて準備等を進めます。

（2）オリパラとの関連性や実現可能性を踏まえた取組の見直し

○幕張新都心拡大地区新駅の整備促進【削除】（行動計画※見え消し版 P15、85）

理由⇒ 新駅の開業は 2023 年度を目標に進めていくこととしたことから、東京 2020 大会開催時までの開業が困難であるため。

○旅客船の運航実験等【削除】（行動計画※見え消し版 P15、85）

理由⇒ 海上交通の実証実験の結果、運航時間の長さや欠航率の高さに加え、運賃価格の乖離が大きいため、定時性確保が求められる輸送手段としての定期便の運航は困難であるため。

(3) 2019 年度版の主な追加された事業など

【機運醸成】

○市民による自発的な大会機運の醸成活動等に対する支援【新規】

(行動計画※見え消し版 P18、83)

市民の大会参加意識の高揚を図るため、大会の機運醸成等に寄与する市民団体の自発的な活動に対して支援を行います。

○機運醸成イベントの実施 (行動計画※見えけし版 P16)

大会開催まで 1 年となり、更なる大会機運の醸成を図るため、経済界、競技団体、関係団体等との連携・協力のもと、大会開催 1 年前イベントなどを実施します。

【障害者のスポーツ参加拡大】

○パラスポーツ窓口【新規】 (行動計画※見えけし版 P56)

パラスポーツに精通したコーディネーターとサポートスタッフを配置し、パラスポーツに関する相談業務、障害者へのスポーツ勧奨、サークル活動に参加するためのマッチング等を行うとともに、体験会等の周知を強化します。

【パラスポーツファンの拡大】

○パラスポーツ応援事業【拡充】 (行動計画※見えけし版 P36、53)

パラスポーツ競技大会を盛り上げ、多くの市民が観戦しパラスポーツファンが拡大するよう、千葉県や経済界、地元企業などと連携し、パラスポーツ競技大会にあわせた応援イベントの実施回数を増やします。

【多様性理解の促進】

○パートナーシップ宣誓制度の制定・運用【新規】 (行動計画※見えけし版 P62)

同性、異性を問わず、互いを人生のパートナーとする二者の宣誓を証明する制度を開始するとともに、関係団体等へ制度の理解と配慮を促します。

【会場周辺の受入環境の整備】

○受動喫煙対策【新規】 (行動計画※見えけし版 P11)

競技会場都市として、受動喫煙防止対策を国際水準とするため、改正健康増進法及び本市独自の条例により、実効性の高い対策を講じます。

○バリアフリー化の推進 (行動計画※見えけし版 P10、64、87)

海浜幕張駅から競技会場までの歩道の段差解消や、海浜幕張駅南口駅前広場にエレベーター、エスカレーターを設置し、ロータリーには身体障害者乗降場の増設を実施します。

○海浜幕張駅前公衆トイレ改修 (行動計画※見えけし版 P11)

海浜幕張駅前公衆トイレの改修を行い、観光客等の利便性を高めます。